

第226回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成29年3月6日(月) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 6人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 片山 貴之 (委員長)  
君島 理恵 (副委員長)  
青木 敬信  
早川 富美子  
町田 明久  
畠山 大

(2) 放送事業者側出席者 関根 房三 (代表取締役社長)  
床井 和夫 (業務推進本部副本部長)  
佐藤 望 (放送部長)  
古寺 雄史 (放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

1月8日夜に放送した特別番組「栃木・山形～冬のうまいもんめぐり」について、  
試聴と意見交換をおこなった。

事業者

これは、同じJFNネット局のFM山形とタッグを組んで、お互いの“うまいもん”自慢をおこない、食の文化を知ってほしいとした番組です。栃木県からは、イチゴ、とちぎ和牛。山形県からは、冬の日本海の味覚である寒鱈鍋、庄内豚などを紹介しました。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：

佐藤アナとFM山形の伊藤アナのコンビは、とても初めて組んだとは思えないほど、息の合ったトークだった。2人が実際に食を楽しんでいる雰囲気伝わってきて、聴く側も楽しく聴けた。栃木、山形両県の魅力が再発見出来る、とても良い番組だ。

委員：

伊藤アナは声質も良く、その話の間の取り方も自然で、好印象だ。  
また、ボキャブラリーが豊富で、喋りに安定感があった。

事業者：

食レポは、映像があるテレビでも、なかなかその味を伝えることは難しく、喋り手の言葉の力が試される場だ。伊藤アナは、イチゴの食レポなどでも、とても解りやすい説明が出来ていた。

委員：

オープニングテーマやBGMなどの選曲が良く、  
コーナーの切り替わりのジングルなど、番組全体を通して、音楽が効果的に使われていた。  
その音量のバランスも聞き心地が良く、トークが、すんなり自然に入ってきた。

委員：

ただ、山形県から栃木県に訪れることを考えた時、現実的には、栃木市から真岡市を訪れるルートは考えづらい。また、取材先について、新幹線で宇都宮駅に降り立ってからの移動の手段や所要時間を示すなど、実際に旅をするイメージでの説明があれば、山形のリスナーにも、より分かりやすく伝わったと思う。

委員：

取材先の紹介順について、例えば、栃木、山形のそれぞれの「フルーツ」や「食肉」のように、カテゴリー別の対決形式で紹介するなどの構成でも面白かったと思う。

事業者：

栃木には提供が付いたが、山形には提供が付かなかったため、取材先の選定には若干の制限があった。ただ、「JFN局とのコラボレーションが新鮮だった」「山形に行きたくなった」など、放送後、リスナーからのメッセージがあり、制作した意義があったと考えている。

今後も、ネットワークを活かした番組の制作には挑戦していきたい。  
他局の優れた部分を弊社の番組に取り入れる機会にもなると考えている。

委員：

“食”をテーマに、JFNという全国のFM局とのネットワークを活かした今回の番組企画は互いの県に興味を持ち、行き来するきっかけとなりうるし、大変、評価出来る。

これを機に、他の県とのコラボレーション番組も今後、期待したい。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を4月10日(月)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 3月26日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし